

3 福岡隆教授 WHO本部委託事業
(診療開発検証事業)を受託

**福岡歯科大学で
ワークショップ開催**

世界保健機関(WHO)の本部が委託する診療開発検証事業「Integrating brief tobacco interventions into oral health programme(簡易タバコ介入を既存歯科診療に統合する開発事業)」を福岡歯科大学口腔保健学講座 口腔健康科学分野 福岡隆教授が事業代表者となり、受託いたしました。

この事業は「WHOたばこ規制枠組み条約」に基づき、口腔疾患とNCDs(非感染性疾患、いわゆる生活習慣病)の共通リスクを認識し、口腔疾患の予防と歯の喪失防止、口腔機能の維持・回復を図るための政策をライフコースアプローチとして推進していくことを目的としています。

平成27年10月13日(15日にジュネーブ(スイス)本部で行われた会議に、福岡隆教授が出席し、事業の詳細について打ち合わせを行いました。

また、11月18日(20日の期間中、本学にWHOの医官をコーディネートするとして迎え、ワークショップ打ち合わせを行いました。19日には、本館5階502講義室において、歯科医師への禁煙介入トレーニングセミナーを実施しました。



4 公民館で
コミュニケーションイベントを開催

**かふえもりのいえ「2号店」
開店しました**

福岡学園と学而会は、近隣の皆様が集う場を提供し、地域を元気にすることを目的に、田村校区自治協議会ならびに社会福祉協議会とコミュニケーションイベント「かふえもりのいえ」を共催してきました。これまでの2回は、介護老人福祉施設サンシャインプラザで開催しましたが、平成27年12月20日に、3回目を初めて田村公民館で開催し、60名を上回る方のご参加をいただきました。

参加者はコーヒーを片手に、名作映画の絵看板、水彩画、さげもん作品展示、クリスマスオーナメントの手作りコーナーや野菜の即売コーナーを回り、他の参加者の方と交流を深めました。また、有名珈琲店ボランティアチームによるセミナーでは、スペシャルブレンドのコーヒーが振舞われました。今後は、ストレッチ体操や口腔医学ミニ講座のコーナーも取り入れ、リピーターを増やしながら、サンシャインプラザと隔月で開催していく予定です。来る2月21日(日)は田村公民館で開催の予定です。ぜひお立ち寄りください。



5 障害者歯科学分野
歯科口腔保健推進事業を開始

**福岡市とともに障がい者入所施設
職員への研修をスタート**

福岡歯科大学成長発達歯学講座 障害者歯科学分野は、福岡市保健福祉局 健康医療部 口腔保健支援センターと連携して福岡市内の障がい者入所施設の職員を対象に歯科口腔保健の向上を目的とした研修を開始しました。平成27年11月9日にはふくふくプラザにおいて本学同講座 同分野 小島寛教授が「障がい者入所施設における口腔支援」と題する講演を行いました。引き続き行われた質疑応答では参加した施設職員からいくつかの困っている事例が提示されその改善に向けて活発な意見交換もあり、非常に有意義であったと参加者は満足していました。

平成28年1月15日には本学医科歯科総合病院の歯科医師と歯科衛生士が施設を訪問して、施設職員に対する実習付き研修が行われました。このあとも次年度にまたがって、希望申請のあった施設を順次訪問して歯科口腔保健に関する研修を継続的に、次年度末にはその効果を判定することとしています。

本取り組みは、歯科口腔保健の推進に関する法律にもとづいて実施される事業で、福岡市内の障がい者施設利用者が生涯を通じて良好な口腔機能を維持していくことを目指しています。



施設職員研修とともに、施設利用者の口腔ケアも実施